正規で働くケースが多いとされる。16年度に県が実施した「愛知子ども調査」では、1人当たりの年間可処分所得が122万円以下の世帯の子どもの割合を示す相対的貧困率は、全体では5・9%だった一方、ひとり親世帯では52・9%に達していた。

ひとり親が子育てに理解のある県内企業に正社員として就職できれば、安定的な収入が確保されるうえ、企業側にもメリットがある。県内では外食産業や建設業を中心に人手不足が深刻化しており、近年、企業内託児所を一般向けに販売する。これまではBtoB（企業間取引）のみで、自動車の内装や鉄道車両のドア、物流用器や建材などに応え、全国で売り出す。

テクセルは板の内部がハチの巣型の構造体となった樹脂製品。一般向けに販売する「テクセルボ」との雑貨に加工したり、光を通し熱に強いため照明器具の一部に用いたりできる。

プラスチック素材販売一2019年秋以降、取扱店舗を本格的に広げたい」としており、21年度に5千万円の売り上げを目指す。

の道には水たまりもある。運転した裕彰さんは「日常ではオフロードを体験できない」と親子で満足できた様子だ。

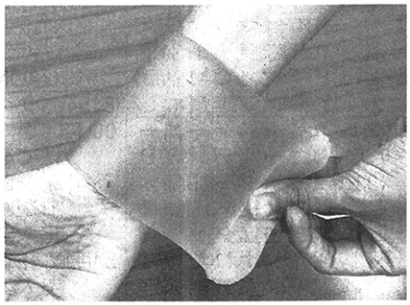
中級者向けコースは森の中を大地の起伏を感じながら700メートル走る。急な坂などの難所がある上級コースは全長が1・7キロメートルだ。バギーは1人乗りの子供用（最高時速15キロメートル）や2人乗り（同30キロメートル）などがそろう。

家族連れやカップルから人気が高く、利用者は

伸縮優れた冷却ジェル

医療向け

三重と岐阜の中小が共同開発



保冷剤メーカーの三重化学工業（三重県松阪市）と樹脂加工・販売のタナック（岐阜市）が、共同で業務用の医療向け冷却剤を商品化した＝写真。ジェル素材の加工技術でニッチトップの中小企業同士が連携し、冷やしても伸び縮みするパック詰めのジェル商品を開発した。21日に販売する。

成人の額とほぼ同サイズ（縦10センチ、横20センチ）で、総重量は約400グラム。患部のケアや熱中症の応急処置、運動後のクールダウンなど幅広い需要を見込む。価格は1個3300円（税別）。初年度は病院や学校の保健室、スポーツ分野などを中心に約3000個の販売を目指す。

三重化学工業は、複数の大手製薬会社にOEM（相手先ブランドによる生産）で冷却ジェルのアイス枕を供給。得意の保冷技術を生かし、医療向けのジェル商品を開発している。

タナックも医療関連製品の販売を拡大。ジェル素材を使った臓器や皮膚、筋肉など模擬人体のパーツ製造で培った技術を、冷却剤の外装パックの開発に転用した。

適度の弾力性、伸縮性を持つジェル素材の特徴を引き出し、「硬い」「ベタベタする」といったナイロンやポリエチレン製パックの装着時の泣きどころを解消したという。美容・エステサロン向けの需要にも期待する。

コメ兵、純利益76%減

4～6月、人件費など重荷

中古ブランド品流通大手のコメ兵が13日発表した2019年4～6月期の連結決算は、純利益が前年同期比76%減の4900万円だった。4月に東京・新宿の時計専門店を開業して家賃が膨らんだほか、社員やパートの給料を上げて人件費が増えた。本業のもうけを示す営業利益は72%減の9200万円だった。

売上高は10%増の1244億円だった。中古品の個人買い取り額が17%増の60億円と好調だった。買い取り専門店を出店したほか、コメダ珈琲店や名古屋駅前のタカシマヤゲートタワーモールなどと提携し、買い取りイベントを強化した。20年3月期の通期の連結業績予想は据え置いた。純利益が前期比28%減の7億2700万円、売上高が11%増の564億円と増収減益を見込む。

笠寺精治寮病院

燃料
安全
トヨ
性能や
燃料電
ORA
を8月
時に二
を排出